

新潟県中越沖地震後の当社柏崎刈羽原子力発電所6号機の
営業運転再開について

平成 22 年 1 月 19 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当社柏崎刈羽原子力発電所6号機（改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット）は、平成19年5月24日より第8回定期検査を行ってまいりましたが、同年7月16日に発生した新潟県中越沖地震の影響により、設備の点検、健全性確認、復旧ならびに耐震強化工事を行うとともに、所定の検査を実施してまいりました。

その後、平成21年8月26日に原子炉を起動、平成21年8月31日に発電を開始し調整運転を続けてまいりましたが、1本の制御棒の位置表示機能に不具合が発生したことから、万全の状態で総合負荷性能検査を受検するため、平成21年12月26日に原子炉を停止し、不具合が確認された制御棒位置検出器を予備品に交換し、他の制御棒を含めて制御棒の動作および位置表示機能が健全であることを確認しました。

平成22年1月8日より発電を再開し、調整運転を続けてまいりましたが、本日午後4時38分、経済産業省の総合負荷性能検査を終了し、営業運転を再開いたしました。

地震発生からこれまでの間、地域の皆さまをはじめ、多くの方々より貴重なご意見、ご支援ならびにご指導をいただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

6号機につきましては、現在運転中の7号機同様、今後も安全を第一として運転を行うとともに、他号機も含め引き続き安全で災害に強い原子力発電所となるよう全力で努めてまいります。

以 上

（参考）柏崎刈羽原子力発電所の現況

1号機（110万キロワット）	定期検査中
2号機（110万キロワット）	定期検査中
3号機（110万キロワット）	定期検査中
4号機（110万キロワット）	定期検査中
5号機（110万キロワット）	定期検査中
6号機（135万6千キロワット）	運転中
7号機（135万6千キロワット）	運転中